



八 剣 山 通 信



第58号

八 剣 山 発 見 隊
2007年3月25日 発行

3月24日(土) 「2007 果樹剪定講習会」を実施しました。

【行事の概要】

八剣山周辺の果樹園においては、雪が深くて寒さの厳しい2月ごろから、今年のサクランボやリンゴが実り豊かに成長することを願いながら、それらの木の枝を剪定する作業がはじまっています。木の周囲を見わたすと、切り落とされた枝があちこちに散らばっていたり、降り積もった雪の中に埋まっています。

果樹の剪定は、私たちの庭に植えてある樹木を見栄えよくするために刈り込む剪定のほかに、おいしい果物をたくさん収穫するために行われます。また、剪定を行うことで、それぞれの樹木の状況などが確認でき、病気にかかっている樹木に対する早期の対応が可能となります。

剪定における基本は、切った後の枝が成長し翌年や翌々年にはどう伸びていくのかを想像することが必要で、一朝一夕にはマスターできない、何年もかけて実際に剪定を体験する中から学んでいく、言わば職人芸であると言えます。

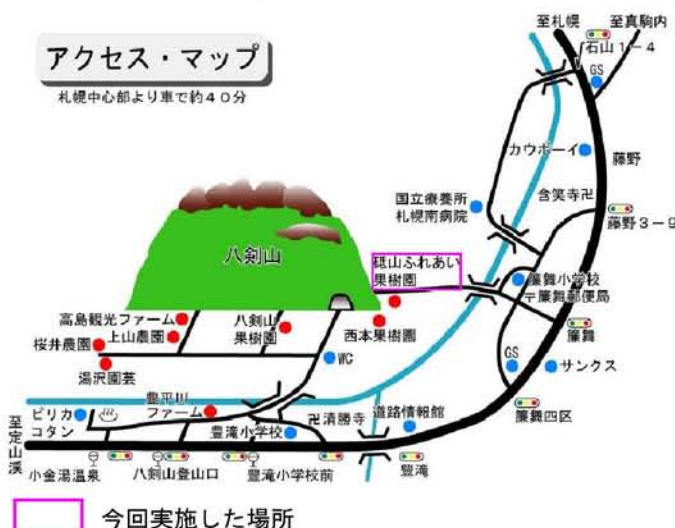
今回は、昨年引き続き元北海道農業試験場果樹研究室長の京谷英壽先生から、果樹の剪定における注意点や疑問な点などについて、実際にリンゴなどの樹木を使って具体的にアドバイスしていただきます。

果樹の専門家から直接に指導を受けることのできる、大変有意義な機会であると思います。

また、剪定により切り落とされた枝を、水を入れた花瓶に挿しておくと、2~3週間たつと白い花が咲きはじめます。参加される皆さんも、お帰りの際には枝を拾い集めて自宅に持ち帰り、少し早い春を感じてみませんか。

・ 主 催 : 八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】



【行事の感想】

会場の砥山ふれあい果樹園には、まだ積雪が1mちかくありましたが、薄曇りの春を思わせる暖かい日差しの中、70人を超える参加者が集まりました。

はじめに小屋の中で、京谷先生から果樹の剪定についての目的、注意事項剪定の方法などについて説明を受けるとともに、園主の瀬戸修一さんから、果樹園を訪れる皆さんから受ける質問の多い、果物の病害虫の防除方法について資料に基づき説明がありました。

一通りの説明の後、果樹園の雪の上を歩いて移動し、はじめにリンゴの若木の剪定方法について、剪定する枝の見分け方や、将来的にどちらの方向に枝を伸ばしていくか等について、具体的に説明を受けるとともに剪定をしていただきました。リンゴの次は別の場所に移動してサクランボの木の剪定について説明が行われました。

小屋では八剣山周辺の果樹園で収穫された果物を使ったジュースやジャムなどの販売も行われ、多くの参加者がそれらを買って帰っていました。

また、講習会参加の中から希望者には、サクランボの木の接ぎ木の方法についても説明が行われました。



【剪定の指導をする京谷先生】

【今後の行事予定】

・ 4月21日 ナメコ菌の植え付け講習会

発行:八剣山発見隊事務局(事務局長 山澤 敬)
061-2274 札幌市南区小金湯510番地
TEL 011-596-2920 FAX 011-596-2920
<http://sapporo.cool.ne.jp/hakkentai/>

2007 果樹剪定講習会



【 果樹の剪定について説明 】



【 雪に埋もれる果樹園 】



【 八剣山と説明を受ける参加者 】



【 リンゴの木の剪定指導 】



【 サクラランボの木の剪定指導 】



【 サクラランボの木の接ぎ木方法の説明 】

